

事業コード	04040403	政策コード	04	政策名	秋田の魅力が際立つ人・もの交流拡大戦略				
事業名	八橋陸上競技場整備支援事業	施策コード	04	施策名	「スポーツ立県あきた」の推進とスポーツによる交流人口の拡大				
部局名	観光文化スポー	課室名	スポーツ振興課	指標コード	04	施策目標(指標)名	地域のスポーツ活動の基盤となる人材の育成と環境の充実		
		班名	調整・スポーツ活性化班	(tel)	1239	担当課長名	飯坂 尚登	担当者名	二木 茂希

評価対象事業(計画)の内容 事業年度 平成30年度 ~ 平成30年度

1. 事業立案の背景(施策目標の達成のために今なぜこの事業が必要なのか) ブラウブリッツ秋田がJ2ライセンスを取得するため、暫定的なホームスタジアムの整備が必要であることから、秋田市が行う市営八橋陸上競技場の改修に対して支援する。八橋陸上競技場は秋田市の施設ではあるが、ブラウブリッツ秋田がJ2リーグで活躍することは、県民の一体感の醸成や県内スポーツの振興に寄与するほか、全県や東北、全国規模の各種大会等も数多く開催されていることから、県としても同競技場の改修を支援する。	3. 事業目的(どういう状態にしたいのか) ブラウブリッツ秋田がJ2ライセンスを取得するためには、暫定的なホームスタジアムの整備が必要であることから、秋田市が行う市営八橋陸上競技場の改修に対し支援し、平成30年6月期限のJ2クラブライセンス申請や、2019シーズンからのJ2リーグでのプレーに向けた環境を整える。  (重点施策推進方針との関係) 重点事業として要望 その他事業として要望
---	--

2. 住民ニーズの状況 ニーズを把握した対象 受益者 一般県民 (時期: H29年 12月) ニーズの把握の方法 アンケート調査 各種委員会及び審議会 ヒアリング インターネット その他の手法 (具体的にブラウブリッツ秋田のJ3優勝や県民からの意見など) ニーズの具体的な内容 ブラウブリッツ秋田がJ3優勝を果たしJ2リーグでのプレーを望む声や、スポーツを通じた地域振興への期待が高まっている。また、Jリーグ側からチームに対し、J2ライセンス交付のためには、八橋陸上競技場の改修と新スタジアム建設に向けた具体的なアクションが必要と示されている。	4. 目的達成のための方法 事業の実施主体 県(八橋陸上競技場改修の実施主体は秋田市) 事業の対象者・団体 ブラウブリッツ秋田、陸上関係者、県民 達成のための手段 秋田市が行う市営八橋陸上競技場の改修に対する支援  比較した代替手段及び選択した手段の有効性 八橋陸上競技場は秋田市の施設ではあるが、ブラウブリッツ秋田がJ2で活躍することは、県民の一体感の醸成や県内スポーツ振興に寄与するほか、全県や東北、全国規模の各種大会等も数多く開催されていることから、県としても同競技場の改修を支援することは妥当である。
---	---

把握していない場合の理由及び今後の方針	
理由	
今後の方針	

5. 事業の全体計画及び財源 単位(千円)

順位	事業内訳	左の説明	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	全体(最終)計画
01	八橋陸上競技場整備支援事業	ブラウブリッツ秋田がJ2ライセンスを取得するため、暫定的なホームスタジアムの整備が必要であることから、秋田市が行う市営八橋陸上競技場の改修に対し支援する。	317,058						317,058
財源内訳			317,058						317,058
国庫補助金									
県債			316,900						316,900
一般財源			158						158

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果 八橋陸上競技場を改修することで、ブラウブリッツ秋田のJ2ライセンス取得につながり、県民の一体感の醸成やスポーツを通じた交流人口の拡大に期待ができる。

指標	指標名								指標の種類
	指標式								成果指標 業績指標
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	最終年度
	目標a								
	実績b			データ等の出典					
	東北 全国								
把握する時期 当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 月									

指標	指標名								指標の種類
	指標式								成果指標 業績指標
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	最終年度
	目標a								
	実績b			データ等の出典					
	東北 全国								
把握する時期 当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 月									

指標を設定することができない場合の効果の把握方法  
 指標を設定することが出来ない理由  
 本事業は秋田市が行う八橋陸上競技場の改修を支援するものであり、指標設定ができない。

見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)  
 八橋陸上競技場を改修することで、ブラウブリッツ秋田のJ2ライセンス取得につながり、県民の一体感の醸成やスポーツを通じた交流人口の拡大に期待ができる。

事業の必要性

現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性  
 クラブがJ3優勝を果たしたが、J2基準のスタジアムが整備されていないことから、J2ライセンス申請を見送っている。県民から上位リーグでのプレーを望む声が寄せられていること等を踏まえ、秋田市が行う改修に対し支援する。同競技場は全県規模の各種大会等も数多く開催されていることから、県としても改修を支援する。

住民ニーズに照らした事業の必要性  
 スタジアム整備を求める約18万筆の署名及び要望書が知事と秋田市長に提出されていることや、J3優勝を果たしたがJ2基準のスタジアムが整備されていないため、J2ライセンス申請を見送らざるを得なかったことから、上位リーグでのプレーを望む県民の声やスポーツを通じたスポーツ振興への期待が高まっている。

事業の県関与の必要性  
 法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの  
 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの

県民の一体感の醸成やスポーツを通じた地域振興に寄与するものであることから、県も一定の関与をしていく考えのもと支援する。

政策評価委員会意見		重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定

重点事業      その他